

はじめに

第4期自己点検・評価委員会は、別表「武蔵野美術大学 自己点検・評価スケジュール」に示すとおり、(財)大学基準協会による認証評価を前提とした点検・評価をその目的とはせず、①今後の改善・改革に向け重要性、緊急性の高いと考える項目に絞り、重点的に点検・評価すること、②2014(平成26)年度の大学基準協会による認証評価のための基礎データを作成することを使命とし、2008年(平成20)年4月に発足した。

本委員会では、まず点検・評価項目について検討し、「大学院」及び「造形学部通信教育課程」をその対象とする方向でおおよそ意見の集約が図られたが、2008(平成20)年度(財)大学基準協会による認証評価において、大学院に関する事項について勧告・助言等指摘を受けていることなども踏まえ、「大学院」を最重要点検・評価項目として設定、点検・評価活動をスタートした。

点検・評価に当たり、本委員会は2009(平成21)年3月に全大学院生を対象としたアンケート、同年7月には全専任教員に対するアンケートを実施した。アンケートは質問項目への回答選択式と記述式を織り交ぜながら行った。(アンケートの内容は報告書の後部に別途添付。)

これらのアンケート結果を踏まえ、各委員が分担して点検・評価報告書の案を作成、その後多くの会議を重ねる中で、第4期自己点検・評価委員会として本報告書を作成し、2011(平成23)年3月23日に理事長・学長へ提出した。報告書の構成は次頁の通りである。

武蔵野美術大学 第4期自己点検・評価委員会
委員長 水上 泰財